

<AIPPI セミナー開催報告>

A I P P I ・ J A P A N 米国知財セミナー【Web 会議方式】

米国トレードシークレット法の最新動向、標準特許・F/RAND アップデート

1) 開催日時：2020年12月10日（木）9：30～11：00

2) 講演者：Alston & Bird LLP

Yuri Mikulka 氏（米国特許弁護士、パートナー、Los Angeles, CA）

H. James Abe 氏（米国特許弁護士、パートナー、Los Angeles, CA）

<主なトピックス>

①米国トレードシークレット法の最新動向

【講演者】Yuri Mikulka 氏

- ・企業のトレードシークレット情報（秘密情報と営業秘密）を知的財産権と共に保護する事的重要性について。
- ・企業内部のセキュリティ強化など、トレードシークレット情報の具体的な保護方法。
- ・リモートワークにおいて情報漏洩を防ぐための実用的なヒント。
- ・近年のトレードシークレットに関する訴訟件数と米国国際貿易委員会（ITC）に対する申立て件数の動向。
- ・トレードシークレットの方が、差し止めが認められる可能性が高い。
- ・トレードシークレットに特徴的な判例の紹介
Motorola v. Hytera, Compulife v. Newman 等
- ・特許法第 101 条とトレードシークレットの相互作用について。



Yuri Mikulka 氏

②標準必須特許と F/RAND アップデート

【講演者】H. James Abe 氏

- ・2020年の標準必須特許（SEP）に関する米国判例のポイントと動向の紹介。
Continental v. Avanci (N.D. Tex.)
FTC v. Qualcomm (9th Circuit)
IP Bridge v. TCL (Fed. Cir.)
Cal. Tech. v. Broadcom et al. (C.D. Cal.)
- ・オバマ・トランプ政権の DOJ・USPTO のポリシー及び今後の見通しについて。
- ・ドイツの（SEP 権利者寄り）の判決の紹介。
- ・FRAND ライセンスの（ライセンサー側及びライセンシー側それぞれの）ベストプラクティスについて。



H. James Abe 氏

本セミナーは企業知財部や特許事務所にご勤務の方で米国知財実務に携わっておられる方々にとって、非常に有意義な内容となった。

以上